

Ⅱ 花き(切花)情報

6月(中旬)までの経過

5月の好天による出荷前進により5月下旬の入荷量は前年を大幅に下回り、6月上旬の入荷量は前年をかなり上回り、相場は乱高下した。6月に入り、各品目で産地が高冷地に移ったが、梅雨により曇天が続き、まだ低温であるため、6月中旬の入荷量は前年を大幅に下回り、相場は前年をかなり上回っている。今年の父の日は全体的に入荷が少なく、単価の高い相場となった。

販売経過 (東京都中央卸売市場大田市場)

項目	経 過
入荷量	5月の好天による出荷前進により、5月下旬は前年を大幅に下回り、6月上旬は前年をかなり上回った。6月に入り各品目で産地が高冷地に移ったが、梅雨らしい梅雨となり曇天が続き、まだ低温の日が多く、6月中旬は前年を大幅に下回っている。
相場	入荷量の多かった6月上旬は前年をかなり下回ったが、入荷量の少なかった5月下旬、6月中旬は前年をかなり上回った。
動向	今年の父の日は全体的に入荷が少なく、単価の高い相場となったが、都市部では、「父の日」＝ヒマワリで年々定着しつつある。ここ最近卸では小売に対し、父の日にヒマワリだけでなく、ベッチーズブルーやデルフィニウム等青色の花の提案を行っている。

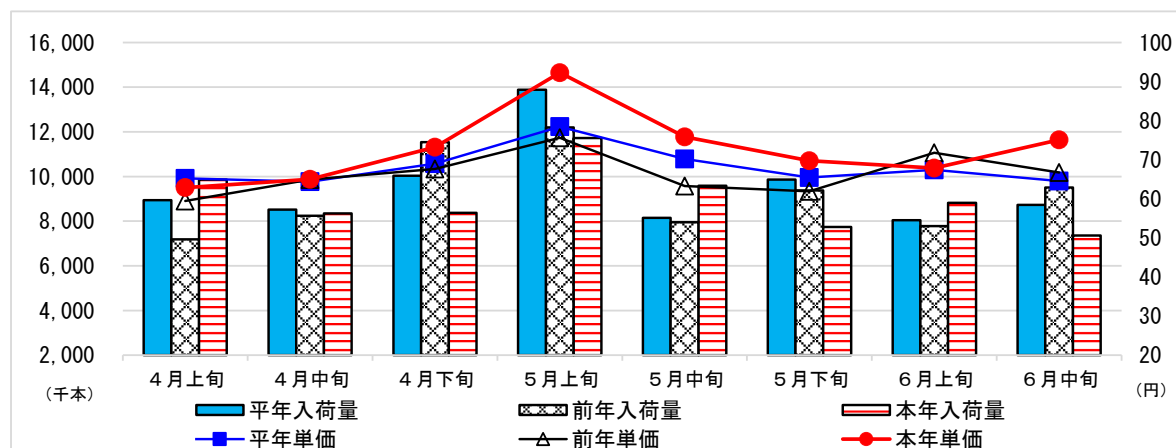
品目別経過

品目	経 過
バラ	(株)フラワーオークションジャパン 入荷数量は前年に比べやや少なめであった。販売は前年よりやや高めの相場で推移した。
ユリ (鉄砲ユリ)	(株)世田谷花き 高冷地の出荷が始まり徐々に増えていく見込みだが、各産地植え付けは微減で極端な増加は無く、持ち合いの見込み。
ヒマワリ	(株)大田花き 父の日に向けては出回りが少なく、活発な動きとなった。それ以外は落ち着いた動きとなった。

7月の見通し

品目	見 通 し
輪ギク	(株)大田花き 7月盆での動きがあるため、通常時期よりは若干動きがみられるが、仏花束用の下位クラス中心の動きとなる見込み。業務については、引き続き鈍い動きとなる見通し。
ヒマワリ	(株)大田花き 八重系などの特殊品種も増え、使用本数が増えてくる見込み。暑い日が続くと、需要が増す見通し。
リシアンサス	(株)フラワーオークションジャパン 高冷地では日照や気温の影響により生育は緩やかとなり、入荷増加は限定的となる見込み。暖地出荷の状況により変動はあるが、大きく相場が崩れる可能性は低い見込み。

6月の入荷量と単価の経過<確定値>〔株)大田花き〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成 平年値は過去3カ年の平均